



大好きなふるさと、散歩でリフレッシュ

私は学生時代から旅行が大好きでした。国鉄（現JR）に乗ってゆっくりのんびりいろいろなところへ行きました。列車の中では車内販売があり、その土地の駅弁を買って、美しい景色を眺めつつ、美味しい楽しい一人旅をしたことを遠い記憶に思い出します。今のように入日が入み2連休ではない時代ですので、そんなに遠くには行けませんでした、時間を都合し松山から出て外へ出ることが、何よりのストレス解消でかけがえのない楽しみだったように思います。

残念ながら今は体を悪くしてしまって、ちょっと歩けば「ハーハー」となかなか思うように動けません。幸いに自動車の運転はできますので、近距離のドライブは可能なのですが、四国を出ることはちょっと無理で、しかも日帰りでないとい体がかちません。いたし方のないことですが大好きな旅行ができず、体が元気であればなあと悔やまれてしまいます。しかし家で過ごすときはテレビの旅番組を本当によく見ます。家にいながら楽しい旅ができる、今は本当に良い時代だなと有難く思います。

伊予松山、お城があって温泉があって、そして俳句の盛んな文学の町、本当に良いところだと思います。しかしそこにじっとしておれず外へ出たがった私、松山に何か物足りなさを感じていたのかもしれません。土佐の桂浜、讃岐の金毘羅さん・・・、気持ちが外へ外へと向いてしまうのです。県外の方々からは「松山はいいところ、住んでみたい」とよく耳にします。確かに住みやすいところですが、今一つ魅力に欠ける町、そのような気がしてなりません。松山の温暖な気候の元、穏やかに日々を過ごし、それが当たり前になり、物足りなさを感じる、はっきり言って感覚がマヒしてしまっていたのだと思います。情けないことですがこの松山の良さを忘れてしまって外ばかりを見ておりました。

先日久しぶりに映画を見に行きました。全国で一斉に封切になった「劇場版 旅人検視官 道場修作」です。話題になっている通り、松山と我がふるさと内子を舞台としたサスペンス映画。あくまでも物語で実話ではありませんが、心が温かくなるほっこりとした2時間でした。ご当地キャストとして今大活躍の友近さんも出演され、松山人の心の豊かさが描かれていました。松山はお遍路さんと育んできたお接待・おもてなしの文化が色濃く残る土地。やっぱり松山はいいところだと改めて思い、幸せな気持ちに浸りながら梅雨の毎日を送っています。皆さんよくご存じの松山城・道後温泉・道後公園・子規博・石手寺もしっかりロケで使われています。松山再発見の映画です。そして内子の街並みや高昌寺、実家のあったところの近所です。普段何とも思っていないでしたが、改めてふるさとはいいなあと実感しています。そう、今度内子へ帰ったらゆっくり散歩に出かけよう、内子の空気をたっぷり吸ってこようとワクワクしています。皆さんも自分の町をたまにはゆっくり散歩に出かけてみませんか。思わぬ発見や人情に触れることがあると思います。

スクールカウンセラー来校日（相談時間12:45～16:45）

7/7（火） 14（火）

電話での相談

電話による相談もできます。「青年期の探究」の最後のページに番号を載せているので、活用してください。

